

M A R
K E T
E Y E

マーケット・レポート

FOMC*¹(5月6・7日)の注目点情報提供資料
2025年5月8日

政策金利を据え置き 様子見姿勢を強める

- 全会一致で政策金利の据え置きを決定。次回の利下げ時期への示唆もなし
- 雇用と物価を巡る見通しの不確実性は、前回会合時点よりもさらに上昇したと判断
- 市場の反応:S&P500指数は前日比+0.4%、米10年国債利回りは同▲3bpsと小動きに

1. 雇用・物価を巡る不確実性が上昇。FRB*²は「様子見モード」を継続

・金融政策:政策金利を4.25-4.50%で据え置き

事前の市場予想通り、FRBは政策金利を4.25-4.50%で据え置くことを全会一致で決定しました。

・雇用・物価見通し:不確実性がさらに上昇していると判断

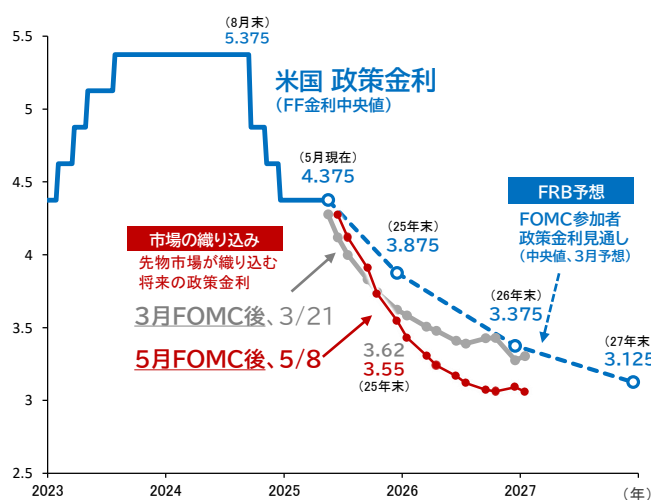
声明文では、雇用と物価をめぐる見通しの不確実性は前回3月会合時点よりも上昇していることが明記されました。ただ、雇用・物価を含む現状の景気判断は、足元まで堅調な推移を示しているとの判断が据え置かれました。

また、2025年1Qの実質GDP成長率が前期比年率▲0.3%と約3年ぶりのマイナスとなったことに対して、パウエルFRB議長は「関税導入に先んじた輸入の増加が原因であり、民間最終消費は3%で堅調に増加している」と一時的な減速であるとの認識を示しました。

・市場の反応:株式、債券、為替ともに小動き

S&P500指数は前日比+0.4%、米10年国債利回りは同▲3bps、ドル円は144円台まで円安ドル高が進行しました。

図表1. 米国 政策金利の市場予想とFRB見通し



【出所】Bloomberg、FRBの公表データに基づき、リそなアセットマネジメント作成

2. 利下げ時期のヒントは今回も得られず。トランプ氏による各種政策動向が引き続き焦点に

【パウエルFRB議長記者会見における注目点】

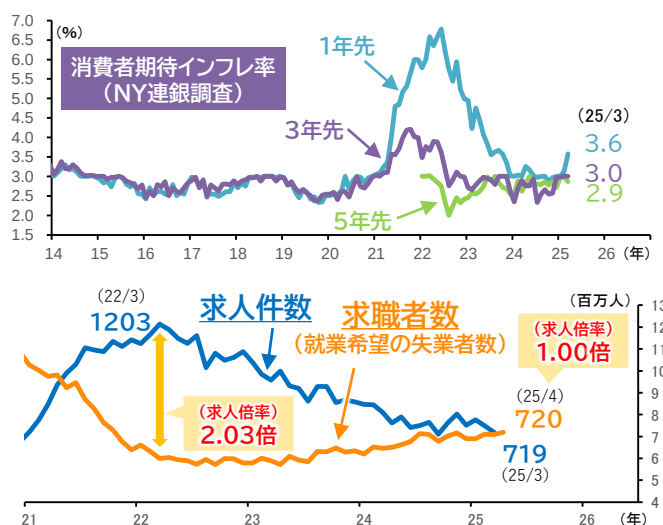
①雇用について: 労働市場は足元完全雇用に近い状態であるとの認識を示しました。また、賃金上昇はインフレ率を上回り、消費の下支えとなっていることも示唆しました。

②物価について: 相互関税がインフレ率に与える影響は一時的であるとの認識を示す一方で、長期化する可能性を否定せず、長期の期待インフレ率が物価目標に対して整合的な水準で推移するかを中心に点検していくとしました。

③金融政策方針について: 「状況がより明確になるまで忍耐強くいることが適切」、「(金融政策の判断を)待つコストはかなり小さい」、「現在の金融政策は良い位置を保っている」と、当面は様子見る姿勢を維持しました。

今回合合では利下げ再開時期に関する示唆は見られなかったものの、見通しの不確実性は引き続き極めて高く、トランプ関税の今後の進展次第ではFRBの判断が大きく変化する可能性には留意が必要と考えます。

図表2. 期待インフレ率と求人倍率



【出所】Haverの公表データに基づき、リそなアセットマネジメント作成

※本文、図中の*については、最終ページの＜補足＞をご覧ください。

※当資料の使用に際し、最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。

作成:運用戦略部 投資戦略グループ エコノミスト 永来和也



リそなアセットマネジメント

RESONA

〈補足〉

- *1 FOMC … 連邦公開市場委員会 (Federal Open Market Committee)。米国の金融政策決定会合にあたる。
- *2 FRB … 連邦準備制度理事会 (Federal Reserve Board)。米国の中央銀行の意思決定機関にあたる。

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、リそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、リそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。